2026年11月13日

各　位

会社名　株式会社ジーニー
代表者名　代表取締役社長　工藤　智昭
（コード番号：6562　東証グロース）
問合せ先　管理部　部長　佐藤　直樹
（TEL. 03-5909-8177）

（開示事項の経過）不正アクセス関連損失の計上に関するお知らせ

当社は、当社が提供する「GENIEE MA」への不正アクセスに係る費用負担額の確定に伴い、2027年３月期中間連結会計期間（2026年４月１日～2026年９月30日）において、不正アクセス関連損失を「その他の費用」として追加計上いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．「その他の費用」の計上（追加計上）について

当社は、2026年５月21日付「『GENIEE MA』への不正アクセスに関するお知らせ」および2026年８月14日付「不正アクセス関連損失および貸倒引当金繰入額（その他の費用）の計上に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおり、当社が提供する「GENIEE MA」において第三者によるクラウド計算資源の不正利用が発生いたしました。

本件につきましては、サーバー提供元との協議を含め精査を進め、当時入手可能な情報に基づく合理的な見積りとして、2027年３月期第１四半期連結累計期間において不正アクセス関連損失181百万円を「その他の費用」に計上しておりました。

その後、不正利用に係る対象範囲および利用実績の精査ならびに関連手続きの完了に伴い、当該クラウド計算資源の不正利用に係る当社の費用負担額が336百万円に確定いたしました。これに伴い、既に計上した181百万円との差額である155百万円を、当中間連結会計期間において「その他の費用」として追加計上いたしました。

これにより、当該不正利用に係る確定した費用負担額の全額を、当中間連結会計期間の損益に反映しております。

２．再発防止策の実施状況について

当社は、本事案を厳粛に受け止め、全社のシステムおよびクラウド環境の点検を実施いたしました。これらを通じて確認された脆弱性や設定上の課題に対し、パッチの適用や設定の見直しを進めております。あわせて、全プロダクトを対象としたペネトレーションテストを実施するとともに、アクセス制御の強化と異常の早期検知・対応体制の整備を進め、再発防止に取り組んでおります。

３．業績に与える影響について

本件による業績への影響を踏まえても、2026年10月30日付「通期業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表した2027年３月期の連結業績予想から変更はございません。

以上